

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズクラブ Little by little(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・午前と午後に療育活動時間を設けることで安定して事業所利用することができる。	・幼稚園、保育園との併行通所を円滑に行えるように午前と午後に療育時間を設けている。幼稚園、保育園での行事を優先的に参加できることや安定して療育時間を確保することができようように配慮している。	・子どもの発達状態に適した小集団での活動内容の検討。 ・子ども一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修の実施。 ・子どものニーズに応じた活動プログラム作成。
2	・心地の良い居場所。	・楽しく、細やかな働きかけのある中で、子どもたちに「ここにくれば、自分のことをわかってもらえる」「ここなら好きな友だちがいる」と落ち着いて過ごせる居場所、空間をになるように支援をおこなっている。	・個別のニーズに対応した居場所をつくることで、子どもの権利を守るとともに、子どもたちが安心して成長できるように感環境設備を行う。 ・異年齢の利用者とやりとりを行う機会を得ることで家庭では得られない知識や経験を積めるようにする。
3	・保護者に時間と心に余裕が持てる環境づくりを行う。	・子育てに悩みを抱える保護者の相談やリフレッシュする場、子どもの預け先になったり、情報交換の場となれるように環境を整えている。 ・また、気兼ねなく相談できるように普段からコミュニケーションを密にとるように心掛けている。	・一人で抱え込まないように協力者を作ることや専門的な視点から少しでも負担が減らせるようなアドバイスや助言を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流機会が不足している。	・活動時間に限りがある事や利用人数の不安定さもあり、近隣の「保育所や幼稚園などとの交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供することが出来ていない。	・保護者の方からの要望などを伺いながら、必要とされている交流がないか検討していきます。
2	・保護者同士の交流機会がない。	・現状で満足しているとの意見が多く、特に交流の場の提供の依頼などもない事で必要性が低いと感じている為。 ・仕事をされている保護者も多く、参加が難しいとの声が多い為。	・保護者の皆様のニーズに応じた開催方法がないか検討していく。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズクラブLittle by little(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・異年齢との交流活動や室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れるなど、さまざまな経験や体験が行えるようにしている。	・近隣の公園に出掛けることや買い物、クッキング等さまざまな活動を取り入れるだけでなく、活動を通して周囲の友だちと協力することの必要性を感じれるように活動内容を構築している。	・異年齢の利用者とのやりとりを行う機会を得ることで家庭では、得られない知識や経験を積めるようにする。
2	・心地の良い居場所。	・楽しく、細やかな働きかけのある中で、子どもたちに「ここにすれば、自分のことをわかってもらえる」「ここなら好きなともだちがいる」と落ち着いて過ごせる居場所、空間になるように支援を行っている。	・個別のニーズに対応した居場所をつくることで子どもの権利を守るとともに、利用者が安心して成長できるように環境設定を行う。
3	・保護者に時間と心に余裕が持てるように相談できるような環境を整えている。	・子育てに悩みを抱える保護者の相談やリフレッシュする場所。 ・また、気兼ねなく相談できるように普段からコミュニケーションを密に取るように心掛けている。	・子育てだけでなく、一人で抱え込まないように協力者を作ることや専門的な視点から少しでも保護者の気持ちに余裕がもてるようなアドバイスや助言を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流活動が不足している。	・活動時間に限りがあることや利用人数の不安定さもあり、「地域の子どもの活動する機会」を活動として提供する事が出来ていない。	・保護者や利用者からの要望を伺いながら、必要に応じて検討していく。
2	・保護者同士の交流機会がない。	・仕事をされている保護者も多く、参加が難しいとの声が多い事やあまり必要性を感じていない為。	・今後は、保護者の皆様のニーズに応じた開催方法がないか検討していく。
3			